

「貧困なくし、平和な日本へ——政治の中身を変える」

——九・一六日本共産党・志位和夫委員長の街頭演説会に、ぜひ、「参加ください」——

「近所のみなさん、日本共産党です。」
 まるで、テレビが、自民党によつて、ハイジャックされたかのように、連日、自民党総裁選挙のようすが、報道されています。

解散・総選挙を前にした報道です。自民党以外の各党・各候補を、公平・公正に扱ってこそ、民主主義的な態度といえるのでは、ないでしょうか。日本共産党は、このことを強く願つて、テレビ各局に、申し入れを行いました。

みなさん。

安倍首相、福田首相と、二代続けて、政権を投げ出した、自公政治の、どこをどう変えたらよいか——政治の中身の改革こそ、国民みんなの知りたいことでは、ないでしょうか。

日本共産党は、みなさんの疑問にこたえる、全国遊説(ゆうぜい)を、始めました。

連休明けの、九月十六日(火曜日)、午後六時から、JR大宮駅西口で、志位和夫委員長が、直接お話しします。ぜひ、聞きにきてください。よろしくお願ひします。

みなさん。

安倍首相、福田首相と、二代続けて、無責任に、政権を投げ出したのは、自公政治の行き詰まりそのものでは、ないでしょうか。首相がかわれば、政治がよくなるかというところ、そもいきま

せん。

実際、五人の総裁候補は、そろいもそろつて、小泉内閣以来の「構造改革」推進派です。貧困と格差を広げ、若い人たちを「使い捨て」にする、派遣労働など、労働法制の「規制緩和」・改悪に、反省がありません。

国民に痛みばかり押しつけ、七十五歳以上のお年寄りに、差別医療まで持ち込んだ、医療・社会保障の「構造改革」にも、一言の反省ありません。

そればかりか、「三年以内に二・三%上げる。・二〇一五年までには一〇%の水準までお願いする」(与謝野 馨氏) という候補をはじめ、そろいもそろつて、消費税増税を押しつけようとしているのは、国民生活にとつて、大変なことではないでしょうか。

みなさん。

人間を「使い捨て」にする、労働法制の「規制緩和」・改悪も、医療・社会保障の「構造改革」も、消費税増税も、財界・大企業の要求です。

この、財界・大企業の言い分ばかり聞く政治が、国民を痛めつけ、行き詰まったのではないのでしょうか。

日本共産党は、国民の暮らしと家計に軸足を移す、政治の改革をめざします。

「バブル」の時の、倍近いもうけを上げている大企業への、行き過ぎた減税を見直し、軍事費を減らせば、消費税増税の必要はありません。

みなさん。

政府は、イラクで、米軍の輸送活動などを支援している、航空自衛隊を、年内に撤収させる方針を、発表しました。当然のことです。

政府は、当初、イラクで、多国籍軍の駐留根拠となっている、国連決議が期限切れになつても、米軍支援を続けようとしていましたが、それは破綻しました。

ところが、総裁候補は全員、アフガニスタンの米軍支援・給油活動は続けようとしています。二〇〇一年同時多発テロから、七年。アフガニスタンでは、米軍の作戦で、女性や子どもたちなど、民間人の命が奪われ、怒りと憎しみが広がっています。

日本共産党は、アメリカいいなり政治の、変革を進めます。憲法九条を持つ国にふさわしい、自主的な平和外交を、進めます。

連休明けの九月十六日(火曜日)、JR大宮駅西口で、志位和夫委員長が、自公政治のどこをどう変えるのか、政治の中身の改革をお話しします。ぜひ、聞いてください。